

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林誠
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3781
事務事業名	11722 消防施設整備事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021400 消防・救急体制の充実						
予 算	会計	01 一般会計					
科 目	科目	090103 消防費・消防費・消防施設費					
事 業	事業	020000 消防施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
消防施設の整備を行い、消防防災基盤を強化する				消防庁舎、消防施設等の整備 消防団機械器具置場、拠点施設の整備 耐震性貯水槽の整備 水防倉庫の整備			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
耐震性貯水槽の設置	消防団拠点施設（詰所・器具置場）整備 耐震性貯水槽の設置 県衛星系防災行政無線設備更新
平成29年度 実績	平成30年度 実績
本郷水防倉庫の改築 ⇒ 水防費水防対策事業へ	消防団第4分団2部機械器具置場を移転新築
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
消防団第8分団3部（野辺町）詰所修繕 通信指令システム部分更新工事1/6	通信指令システム部分更新工事2/6

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		8,758	76,900
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	21,388
一般財源		8,758	55,512
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,860.0	2,860.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,860.0	2,860.0
市民一人当たりの経費		0.2	1.5
総額		11,618.0	79,760.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	758	設計監理委託料
15節 工事請負費	7,981	建設工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	19	手数料

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	76,900	消防団詰所（8-3）の修繕1,300 通信指令システムの部分更新（1/6）75,600
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防拠点施設を修繕し、また通信指令システムを部分更新することで、市民の生命、身体及び財産等を災害から守るため必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	消防防災基盤の強化に有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	消防施設の整備に関して、関係部局と連携している 町村から広域消防受託事業経費として財源確保する 既存施設を建て替えでなく修繕により高寿命化	

振り返り（決算年度の取組み課題）

消防施設の整備に関して関係部局と連携して推進する一方で、受託町村から経費分担や対象となり得る補助事業等の情報収集に努め、財源確保にも注力する

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

更新計画による消防団詰所(8-3)の修繕工事及び通信指令施設の部分更新は、計画通りに進捗している。今後も財源確保のため受託町村から経費分担や対象となり得る補助事業等の情報収集に努めます。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

・更新計画に基づき団詰所・器具置場の更新を継続する

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--